

# エムティーアイ通信

## 中間報告書 2021年 9月期

2020.10.1-2021.3.31



株式会社エムティーアイ

〒163-1435

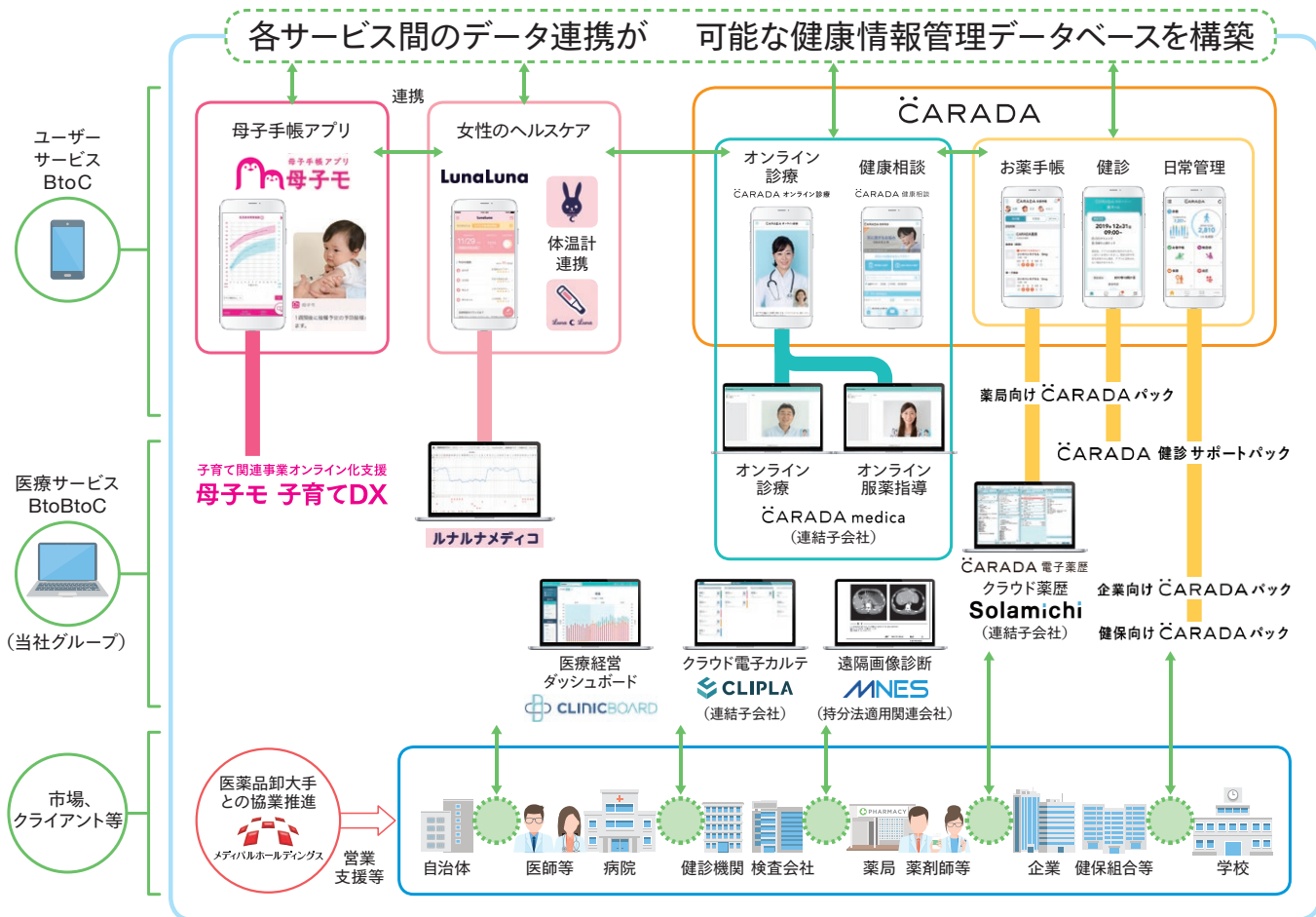
東京都新宿区西新宿3-20-2

東京オペラシティタワー 35F

<https://www.mti.co.jp>

株主の皆さまへ

# ヘルスケアサービス全体像



※ 画像は一部開発中のものであり実際のものとは異なる場合があります。  
 ※ 当社グループが提供するサービスは、医療現場へのサポートサービスを一部含んでいますが、医療行為を行うものではありません。

## トップメッセージ

### ヘルスケア事業の売上拡大に取り組みます。



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が日本経済に大きな影響を及ぼしている状況にあります。将来の持続的な成長に向けてコンテンツ事業およびヘルスケア事業において様々な取り組みを行いました。

コンテンツ事業では、セキュリティアプリの有料会員数拡大およびオリジナルコミック事業の拡大に注力しました。ヘルスケア事業では、調剤薬局向けクラウド薬歴の導入店舗数拡大や自治体向け母子手帳アプリ等の拡販を積極的に行いました。その結果、売上高は前年同期比横ばいの130億46百万円、営業利益は同14.8%減の12億32百万円となりました。

下期以降も、(株)メディパルホールディングスとの協業によりヘルスケア事業のさらなる売上拡大に繋げていき

ます。同社との協業を推進しやすい体制を構築するために、今年7月には、中間持株会社として(株)エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスを設立し、同社と協業を行う複数のヘルスケア事業を順次集約させていく方針です。

なお、中間配当金については、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しましたが、ヘルスケア事業が収益貢献するまでは安定配当を維持する方針であることを勘案し、1株あたり8円とさせていただきます。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

前多 俊宏

## 2021年9月期 上期業績

売上高:横ばい、営業利益:減益

通期業績予想に対して売上高・営業利益は 順調に推移

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリの新規入会者獲得を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けへのオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、また自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションの拡販を行うべく、協業先の(株)メディパルホールディングスとの連携を行いました。

これらのことにより、売上高は130億46百万円(前年同期比0.6%増)、売上総利益は96億27百万円(同2.0%増)となりました。

営業利益については、売上総利益が増益となりましたが、セキュリティ関連アプリの有料会員数の拡大に向けた広告宣伝費の増加に加え、人件費や外注費の増加に伴う販売費及び一般管理費の増加により12億32百万円(同14.8%減)となりました。

経常利益については、営業利益の減益に加え、持分法による投資損失の拡大(同2億50百万円増)を主因とする営業外費用の増加により8億40百万円(同35.8%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の減益に加え、特別利益の減少や子会社株式譲渡益に対して法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、14億16百万円の損失(前年同期は12億46百万円の利益)となりました。

### 上期業績

	2021年9月期 上期	2020年9月期 上期	前年 同期比
売上高	130億 46百万円	129億 73百万円	0.6%増
営業利益	12億 32百万円	14億 46百万円	14.8%減
経常利益	8億 40百万円	13億 10百万円	35.8%減
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (△は損失)	△14億 16百万円	12億 46百万円	—

## 上期業績予想との差異

経常利益においては持分法による投資損失の拡大、当期純利益においては法人税等調整額計上の見送りを主な要因としてそれぞれ上期業績予想との差異が発生していますが、いずれもキャッシュ・フロー上の影響はありません。

### 上期業績予想との差異

	2021年9月期上期		差異
	直近予想	実績	
売上高	130億円	130億46百万円	+46百万円
営業利益	11億円	12億32百万円	+1億32百万円
経常利益	11億円	8億40百万円	△2億59百万円
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (△は損失)	7億50百万円	△14億16百万円	△21億66百万円

## 通期業績予想

上期実績を踏まえ、通期業績予想については経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のみ修正しています。

### 通期業績予想

	2021年9月期 通期(予想)	2020年9月期 通期(実績)	前期比
売上高	260億円	260億 82百万円	0.3%減
営業利益	23億円	25億 7百万円	8.3%減
経常利益	18億円	20億 82百万円	13.6%減
親会社株主に 帰属する 当期純利益 (△は損失)	△8億円	5億 6百万円	—

- 業績予想値はレンジで開示していますが、便宜的にレンジの中間値を記載しています。
- 当社連結業績における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微と見込んでいますが、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示します。

## 配当金予想

中間配当金については、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しましたが、ヘルスケア事業が収益貢献するまでは安定配当を維持する方針であることを勘案し、1株あたり8円とさせていただきます。期末配当金予想についても変更ありません。

### 1株当たり配当金予想

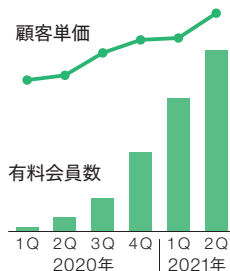
	中間 配当金	期末 配当金	年間 配当金
2021年9月期 (予想)	8円 (実績)	8円	16円
2020年9月期 (実績)	8円	8円	16円

## 売上拡大に向けた取り組み

### ① コンテンツ事業

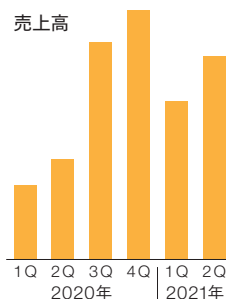
#### セキュリティ関連アプリの有料会員数拡大

広告や危険なサイトをブロックすることで安全・安心にネット操作するニーズが高まっているため、セキュリティ関連アプリの入会は好調に推移しています。引き続き携帯ショップでの入会を促進していきます。



### オリジナルコミック事業の拡大

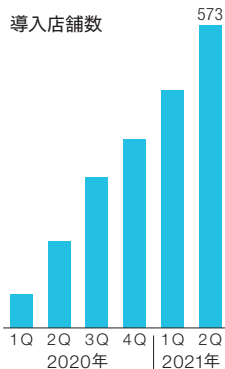
コミック配信事業者向けにヒット作となっているオリジナルコミックを継続的に提供中であることから売上拡大が続いています。今後も作品の月間提供数を増加させていくことにより持続的な成長を図ります。



### ② ヘルスケア事業

#### 調剤薬局向けクラウド薬歴事業の拡大

クラウド薬歴の導入店舗数は順調に拡大し、ヘルスケア事業の売上拡大に寄与しています。さらなる導入店舗数拡大のため、協業先である医薬品卸大手の榊メディカルホールディングスとの営業連携強化に加え、2021年4月より開始している調剤薬局向けITソリューション企業との協業についても注力していきます。



### 『母子モ』プラットフォーム化

母子手帳アプリ『母子モ』の導入数は2021年3月末で351自治体となりました。また2020年7月より開始したオンライン相談サービスも成約数が50超となりました。今後展開予定の小児予防接種、乳児全戸訪問、乳幼児健診等の子育てDXサービスにも注力していくことを通じて、『母子モ』プラットフォーム化を推進していきます。



#### 母子手帳アプリ『母子モ』と子育てDXサービス領域拡大



## (株)メディパルホールディングスとの 協業推進

当社と医薬品卸大手の(株)メディパルホールディングスは、医療・ヘルスケア領域のICT化を普及・促進し医療・ヘルスケアプラットフォームの構築を実現することを目的に、協業を推進しています。

両社の事業面における協業関係は多岐に渡っており、複数のヘルスケア事業での営業連携が進行しているほか、資本面においても提携をさらに強化することにより、上記目的の早期実現を目指しています。

### 1. (株)カラダメディカにおける 株主割当増資

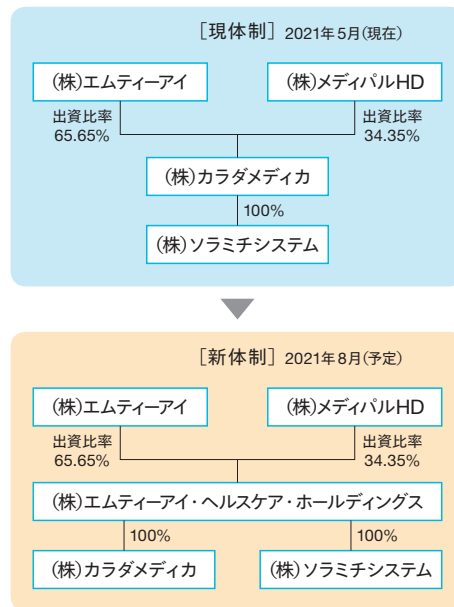
両社の合弁会社である(株)カラダメディカにおいて株主割当増資(6,157百万円)を2021年2月に実施しました。そのうち当社が4,042百万円、(株)メディパルホールディングスが2,115百万円を引き受けました。

株主割当増資による調達資金は、両社の協業をより進めやすい体制を構築するために、最も協業が進展している調剤薬局向けクラウド薬歴事業を展開する(株)ソラミチシステムの全株式を当社から譲り受けることに充当しました。



### 2. ヘルスケア事業の中間持株会社を設立

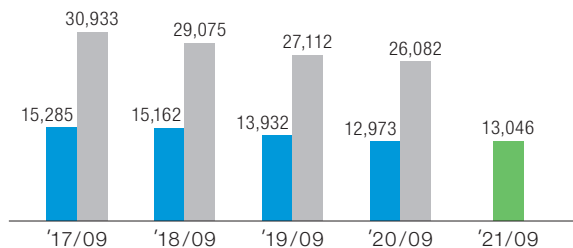
両社の協業をより緊密かつ機動的に推進していく観点から、今年7月には中間持株会社として、(株)エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスを設立します。このホールディングスの傘下に、(株)メディパルホールディングスと協業を行っているヘルスケア事業を順次集約させていく方針です。



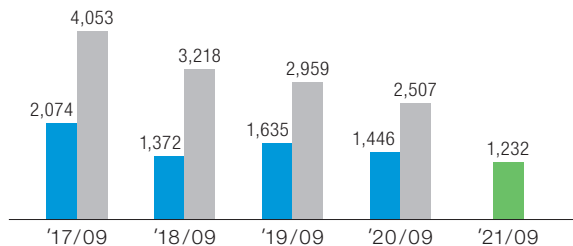
## 決算データ

## 売上高

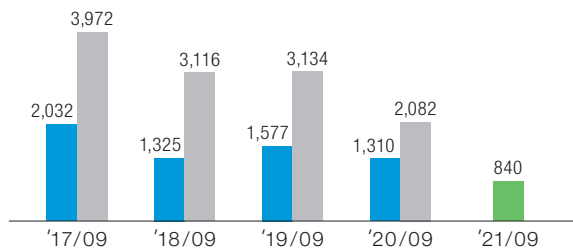
■：上期 ■：通期 ■：当上期  
(単位：百万円)



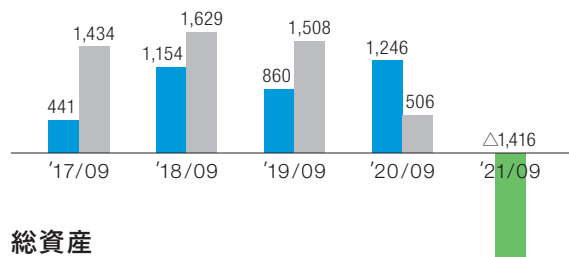
## 営業利益



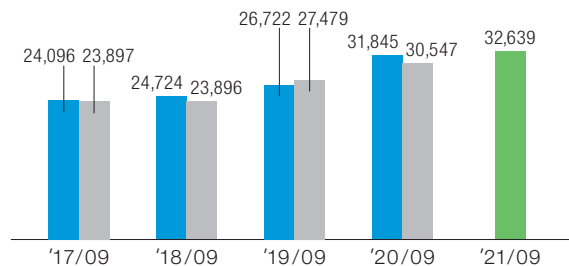
## 経常利益



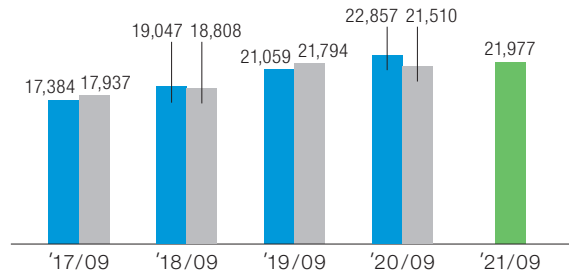
## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 総資産



## 純資産



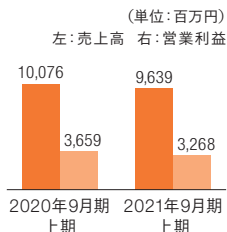


## 今期、セグメント開示を開始

### ① コンテンツ事業

- ・月額課金サービス(『ルナルナ』、『カラダメディカ』以外)
- ・オリジナルコミック事業

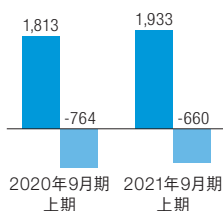
売上高は、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果がありました。前年同期対比で有料会員数が減少したことにより96億39百万円(前年同期比4.3%減)となりました。営業利益については、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』向けの広告宣伝費の増加を主因に32億68百万円(同10.7%減)となりました。



### ② ヘルスケア事業

- ・医療機関・自治体向けヘルスケアサービス  
(『ルナルナ』、『カラダメディカ』の月額課金サービスを含む)

売上高は、前年同期対比で「クラウド薬歴」の導入店舗数拡大による初期導入売上高が拡大し、19億33百万円(前年同期比6.6%増)となりました。営業利益については、先行投資費用負担が続いていますが、6億60百万円の損失(前年同期は7億64百万円の損失)となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。

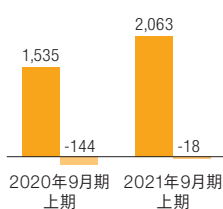


### ③ その他事業

- ・フィンテック事業
- ・AI事業
- ・ソリューション事業

AI事業および法人向けソリューション事業の売上高が拡大したことにより、売上高は20億63百万円(前年同期比34.4%増)となりました。

営業利益については18百万円の損失(前年同期は1億44百万円の損失)となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。



## 上期決算のポイント

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2021年3月末	2020年9月末
流動資産 ①	21,738	19,743
固定資産	10,901	10,803
流動負債 ②	6,551	4,766
固定負債	4,110	4,270
純資産 ③	21,977	21,510
総資産	32,639	30,547

#### ① 流動資産

現金及び預金の増加を主因に19億94百万円増加しました。

#### ② 流動負債

主に長期借入金が増加したことにより31億40百万円の増加となりました。

#### ③ 純資産

配当金の支払いおよび親会社株主に帰属する四半期純損失として14億16百万円を計上した一方、主に非支配株主持分が増加したことにより4億66百万円増加しました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2021年9月期 上期	2020年9月期 上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,037	966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△879	△3,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,287	3,179
現金及び現金同等物の 四半期末残高	15,811	12,677

## 会社情報/株式情報

2021年3月31日現在

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年9月期 上期	2020年9月期 上期
売上高 <b>4</b>	13,046	12,973
売上原価	3,419	3,531
売上総利益 <b>4</b>	9,627	9,441
販売費及び一般管理費	8,395	7,995
営業利益 <b>5</b>	1,232	1,446
営業外収益	91	33
営業外費用	483	169
経常利益 <b>5</b>	840	1,310
特別利益	5	602
特別損失	109	81
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△は損失) <b>6</b>	△1,416	1,246

**4 売上高／売上総利益**

売上高は130億46百万円(前年同期比0.6%増)、売上総利益は96億27百万円(同2.0%増)となりました。

**5 営業利益／経常利益**

営業利益については、売上総利益が増益となりましたが、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数の拡大に向けた広告宣伝費の増加に加え、人件費や外注費の増加に伴う販売費及び一般管理費の増加により12億32百万円(同14.8%減)となりました。

経常利益は、営業利益の減益に加え、持分法による投資損失の拡大(同2億50百万円増)を主因とする営業外費用の増加により8億40百万円(同35.8%減)となりました。

**6 親会社株主に帰属する四半期純利益**

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の減益に加え、株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、14億16百万円の損失(前年同期は12億46百万円の利益)となりました。

## 会社概要

商号	株式会社エムティーアイ
設立	1996年8月12日
資本金	5,180百万円
本社所在地	〒163-1435 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 35F
従業員数	1,192名(連結)
URL	<a href="https://www.mti.co.jp/">https://www.mti.co.jp/</a>

## グループ会社

**[連結子会社]**

(株)エムティーアイ・コンサルティング、  
MTI TECHNOLOGY Co.,Ltd.、(株)ソラミチシステム、  
(株)メディアアール、(株)ビデオマーケット、(株)カラダメディカ、  
Automagi(株)、(株)ファルモ、クラウドキャスト(株)、(株)クリブラ

**[持分法適用関連会社]**

上海海隆宜通信息技术有限公司、(株)スタージェン、  
(株)昭文社ホールディングス、(株)Authlete、(株)エムネス、  
(株)ポケット・クエリーズ

## 大株主

	持株数(株)	議決権比率
前多俊宏	11,862,100	21.87%
株式会社ケイ・エム・シー	10,096,000	18.62%
株式会社エムティーアイ	6,297,034	—
光通信株式会社	5,358,700	9.88%
株式会社 UH Partners 2	5,358,700	9.88%
株式会社メディアパルホールディングス	3,150,000	5.81%
株式会社 UH Partners 3	2,445,200	4.51%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,548,000	2.85%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,239,100	2.28%
株式会社デジマース	950,000	1.75%

## 株主メモ

## 株式状況

発行可能株式総数	179,040,000 株
発行済株式総数	61,209,300 株
株主総数	3,591 名

## 役員

代表取締役社長	前多 俊宏	取締役	藤田 聡(※)
取締役副社長	泉 博史	取締役	横山 禎徳(※)
取締役副社長	武井 実	監査役(常勤)	丹羽 康彦(※)
専務取締役	松本 博	監査役	崎島 一彦(※)
取締役	周 牧之(※)	監査役	大矢 和子(※)
取締役	山本 晶(※)	監査役	笠原 智恵(※)
取締役	土屋 了介(※)		

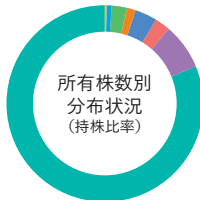
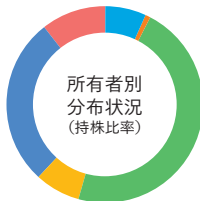
※は独立役員

## 株式分布状況

■ 金融機関	6.86%
■ 金融商品取引業者	0.83%
■ その他法人	47.01%
■ 外国法人等	7.35%
■ 個人・その他	27.66%
■ 自己名義株式	10.29%

■ 1 以上 5 未満	0.43%
■ 5 以上 10 未満	0.82%
■ 10 以上 50 未満	2.59%
■ 50 以上 100 未満	1.23%
■ 100 以上 500 未満	3.77%
■ 500 以上 1,000 未満	2.30%
■ 1,000 以上 5,000 未満	7.66%
■ 5,000 以上	81.20%

※単位：単元



事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL 0120-232-711
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部) (証券コード：9438)
公告方法	電子公告により行う URL <a href="https://www.mti.co.jp/koukoku/">https://www.mti.co.jp/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告します。)

## 株式に関するお手続きについて

- 1 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、インターネットによるダウンロード(<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>)、または証券代行部テレホンセンター(0120-232-711(通話料無料))をご利用ください。

※本誌には当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確定要素が含まれているにご留意ください。